

# 庄内鶴岡 地域CST会

地域みんなで支える排泄ケアの会 -地域CST会 (コネクト・チーム) -

超高齢社会を迎えた日本において、排泄ケアの改革は早急に取り組むべき課題と言えます。それは、排泄ケアは患者本人と介護者のQOLに大きく関わるケアであり、地域で高齢者の生活を支える為には、シンプルな排泄ケアを在宅まで繋ぐ必要があるからです。その体制を整える為に、今私たちは何をし、どのような取り組みを推進するべきなのでしょうか？昨年に続き、鶴岡市とその近郊でケアに携わる皆さまが顔の見える関係を作り、共に考え学び合うことができる機会を創出したいと考えております。

そこで、2017年度は排泄サポートに関する知識を学び・共有することとし、知識の習得から実際にご施設で困っている困難事例を共に考えることを連続して行いたいと考えました。

シリーズ化することで知識の吸収だけでなく、地域の仲間と共に意識を高めあえるきっかけになると思います。

ぜひ、みなさまのご理解とご協力、積極的なご参加をお願いいたします。

**【目的】 排泄ケアの迷いを無くし、根拠と自信をもってご利用者と接する**

**【目標】 排泄サポートに関するアセスメント力の向上を図る**

- ①入所者個々の排泄パターンを把握し、排便サポートができる
- ②下剤の特徴を理解し、排泄パターンに合わせた下剤の選択が出来、適切なタイミングで使用できる
- ③排便サポートを通して、日中のオムツ内排便を減らすことでスキントラブルを防ぎ、その方らしい生活を送る事ができる

月	テーマ	目標	到達目標
5月	排便サポートを知る	①排泄ケアとは何か知る事が出来る ②排泄情報を理解し共有できる	①排泄ケアを理解し、排便サポートすることで入所者の生活への影響を考える事が出来る ②排泄連絡シートを完成させる
7月	緩下剤を理解する 施設の現状把握	緩下剤の特徴・違いを理解する	緩下剤の特徴を理解し、個々に合った下剤の選択が出来る
9月	排泄日誌の使用状況 かた活用方法を広げる	排泄日誌を使用し、疑問点・問題点を抽出できる	排泄日誌表記載について疑問が解決出来、スタッフに説明できる
11月	排泄日誌から個々の 排泄パターンを知る	排泄日誌をもちより、個々の排泄パターンの分析	排泄日誌をもとに、排泄パターンを把握し、下剤の調整を考える事が出来る
2月	報告会	①現状を把握することができる ②排泄ケアを通しての今後の課題が明確になる	①現状を踏まえ、排泄への援助や緩下剤の使用方法を振り返ることが出来る ②今後の課題の具体策を見出す事が出来る